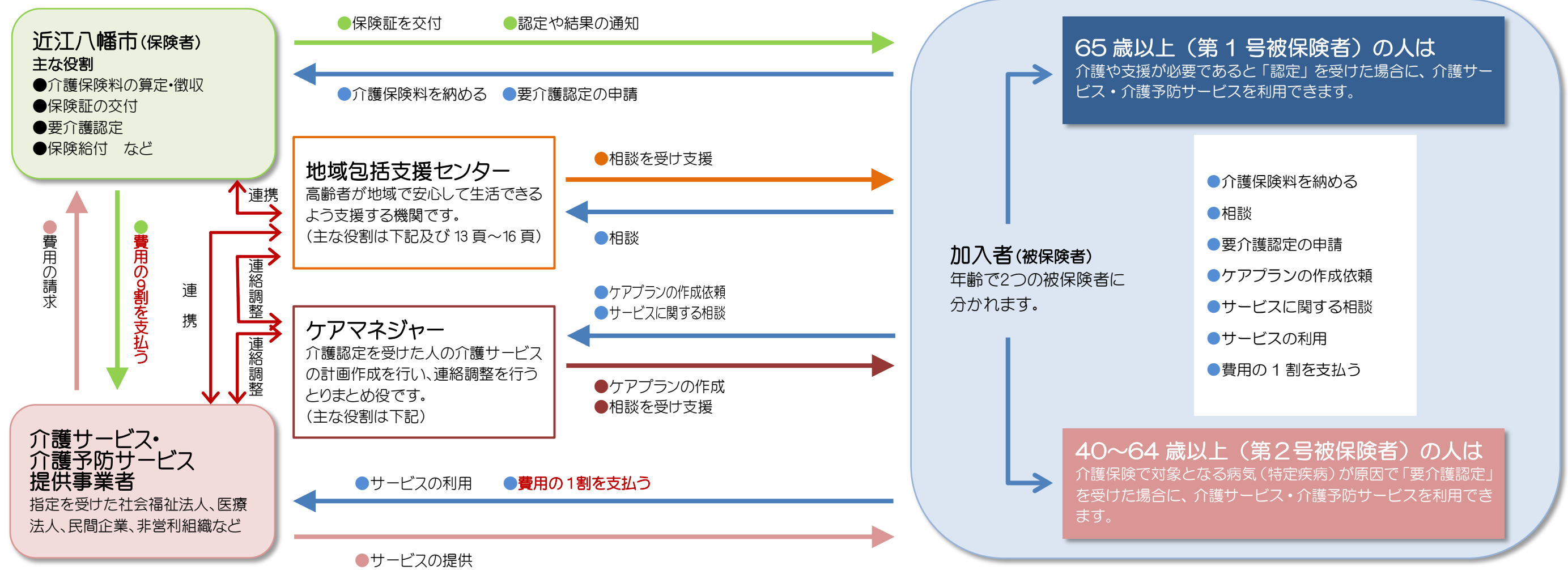


介護保険のしくみと加入者

介護保険は市区町村が運営します。介護が必要になっても高齢者が地域で安心して暮らしていけることをめざすとともに、いつまでも自立した生活を送れるよう社会全体で支える制度です。

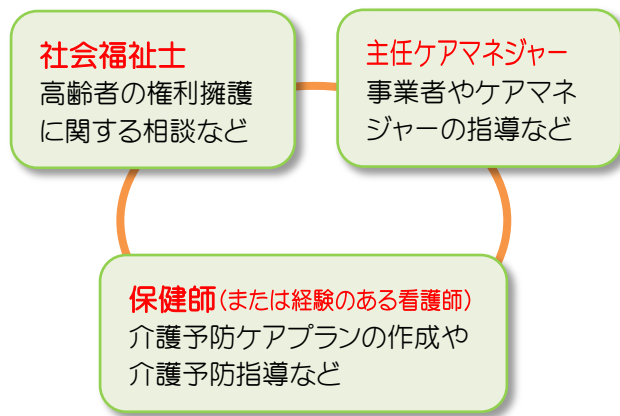
40歳以上の人は、介護保険に加入し、決められた保険料を納めています。その保険料や税金を財源とすることで、介護が必要な人は、費用の一部を負担するだけで介護サービスを受けられます。



●「地域包括支援センター」とは？

地域包括支援センターは、介護予防ケアプランを作成するほか、医療機関・サービス提供事業者・ボランティアなどと協力しながら、地域の高齢者のさまざまな相談に対応する総合的な役割を担っています。

【どんなスタッフがいるの？】



【主にどんなことをするの？】

- 高齢者や家族、地域住民からの介護や福祉に関する相談への対応、支援
- 介護予防ケアプランの作成、介護予防事業のマネジメント
- ケアマネジャーへの支援やネットワークづくり
- 高齢者に対する虐待の防止やその他の権利擁護事業

●「ケアマネジャー」とはどんな人？

ケアマネジャーは、利用者の希望や心身の状態にあったサービスが利用できるように導いてくれる幅広い介護知識をもった専門家でサービスの窓口役です。ケアプランを作成し、利用者の自立支援をめざした適切なサービスが提供されるように、ケアマネジメントを行い介護を支援します。利用者がケアマネジャーを選ぶことができますし、変えることもできます。その場合は市の高齢福祉介護課や福祉総合相談課(地域包括支援センター)に相談しましょう。

【ケアマネジャーの役割(ケアマネジメント)】

- ケアプラン※の作成
- 介護サービス事業者との連絡調整
- サービスの再評価とサービス計画の練り直し
- 要介護認定の申請代行など

※ケアプランとは、本人や家族の状況や希望、生活環境などに配慮し、自立した生活をめざせるように、どのようなサービスでどの程度援助していくかという視点にたって、利用する介護サービスの種類・内容・スケジュール・提供するサービス事業者などを定めた「介護サービスの利用計画」のことです。